公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金
2024 年度　事業報告書
（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

【2024 年度概要と成果】

・2024 年度は、公益活動団体からの法人運営や資金調達についての相談が増加し、そのうち事業指定助成プログラム申請につながったものもあった。当財団の助成プログラムとタイミングが合わず申請に至らない場合もあるが、団体が取り組む地域課題についての情報収集につながるため、今後に活かしていきたい。

・また遺贈寄付についての相談が前年度より増加した。数年前まで相談がなかったころから比較すると、遺贈寄付の認知度と当財団の取り組みの認知度が向上してきたのではないかと考える。引き続き啓発活動を行っていきたい。

・一方で財団のミッションである「多様な主体とともに志金と社会資源の流れをつくる」が実現できているかというと十分であるとは言えない。多様な資金を活用しながら千葉県内の公益活動への寄付が促進されるような取組みを進めていく必要がある。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

1．助成事業

（1）事業指定助成プログラム

・2024 年度は年間を通じて募集を行い、2 回の締切りを設け審査をおこなった。

＜第 1 次＞

公募期間：2024 年 4 月 24 日～7 月 25 日

相談件数：3 件

申請件数：2 件

採択件数：2 件

＜第 2 次＞

公募期間：2024 年 7 月 26 日～2025 年 1 月 24 日

相談件数：1 件

申請件数：2 件

採択件数：1 件（採択後辞退）

・今年度寄付総額：4,962,000 円／助成総額：未実施

・助成先（寄付募集団体）：

事業名・団体名・所在地	目標額	寄付募集期間	寄付額（3/31）	件数
大移転計画「シン・ぴおねろの森プロジェクト」 一般社団法人ぴおねろの森（印西市）	57,620,000 円	2024 年 10 月 1 日～ 2025 年 9 月 30 日	4,572,000	54
社会的養護下のアフターケア事業 就労支援プログラム「きみらぼ」 きみらぼ友の会（千葉市）	3,180,000 円	2024 年 12 月 1 日～ 2025 年 11 月 30 日	390,000	12

（2）テーマ・地域型基金

ア．子どもの今と未来を支える基金（継続）

・経済的困難を抱える家庭の子どもたちへ「体験」「学び」の機会を提供する非営利団体（ＮＰＯ法人等）への助成を行い、千葉県内における子どもの「体験」「学び」の機会の充実と拡充を図ることにより、「体験の格差」を解消することを目的とした助成を実施した。

・2024 年度公募助成：

対象事業：

①千葉県内において経済的困難を抱える家庭の子どもたちに、「体験」や「学び」の機会を提供するための事業。

②経済的困難を抱える家庭や子どもたちが確実に参加できる事業。（行政やスクールソーシャルワーカー、子ども食堂、子どもの学習・生活支援団体など、地域のステークホルダーとの連携を推奨）

助成対象期間：2024 年 7 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

申請受付期間：2024 年 5 月 1 日～5 月 31 日

申請件数：4 件

採択件数：3 件

助成総額：600,000 円

・今年度寄付総額：295,461 円／助成総額：600,000 円

・助成先：

団体名・所在地	事業名	助成金額
NPO 法人 Matsudo 子どもの未来へ with us（松戸市）	松戸子ども食堂　冬のスノーキャンプ 2024 自然体験プログラム	200,000 円
船橋プログラミング部（船橋市）	教育版 Minecraft を活用したプログラミング体験会	200,000 円
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団東関東事業本部（習志野市）	生活困窮世帯、孤立世帯、および引きこもり児童への学習支援、食支援・居場所・相談事業	200,000 円

イ．まつど子育てささえあい基金（継続）

・「まつどでつながるプロジェクト」の活動をもとに、松戸市の親子の孤立を予防、制度の狭間にいる人に対する民間の取り組みを支援するための基金を設置し、ウェブサイトを活用し、寄付を募った。

・2019 年基金設置時と周辺環境が変化し基金活用の見込みが立たないため、基金への寄付募集は休止することとした。

・これまで基金に集まっている寄付は、理事会での協議を経て、まつどでつながるプロジェクトの地域円卓会議実施事業へ助成することとした。

・今年度寄付総額：0 円／助成総額：139,409 円

・助成先

団体名・所在地	事業名	助成金額
まつどでつながるプロジェクト運営協議会（松戸市）	まつどでつながるプロジェクト地域円卓会議開催	139,409 円

ウ．2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金（継続）

・今年度は積極的な広報は行なっていない。

・今年度寄付総額：0 円／助成総額：0 円

エ．休眠預金等活用助成事業 2023 年度通常枠「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」（継続）

・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法」）」及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。

・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施している。

・資金分配団体事業期間：2023 年 10 月 17 日～2027 年 3 月 31 日

・財源：休眠預金／助成総額（2024 年度分）：28,105,439 円

・事業概要：千葉県において、従来の就労支援の枠組みから漏れ落ちる 15 歳頃～39 歳頃の若年就労困難者に対する「包括的な就労支援（①就労に至るまでの選択肢の拡充、②就労定着支援体制づくり、③社会資源を有効活用する仕組みづくり）」を実施することにより、働きづらさを抱えた若者が、自分に合った働き方や仕事が選択でき、地域社会のつながりや関係をつくりながら自立し、豊かで安心できる暮らしが送れる地域社会を目指す。

・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2024 年 5 月～2027 年 2 月 28 日

・助成先：

団体名・所在地	事業名	2024 年度 助成金額
NPO 法人キャリア base（柏市） ※1 次公募	通信制高校で就労に困難を抱える生徒のための就労支援事業	10,440,000 円
認定 NPO 法人キャリアデザイン研究所（柏市）　※1 次公募	生きづらさを感じている若者向け多様な幸せ実現事業	10,778,839 円
企業組合 We need（市川市） ※2 次公募	「働きたいのに働けない」生きづらさを抱える若者のための中間就労の場づくり	6,886,600 円

※NPO 法人キャリア base 及び認定 NPO 法人キャリアデザイン研究所は 2023 年度第実施 1 次公募にて採択

【2024 年度実施状況】

・第 2 次公募：

公募期間：2024 年 4 月 15 日～6 月 28 日

申請件数：3 件

採択件数：1 件（企業組合 We need）

・助成先 3 団体に対する伴走支援：

-研修実施（キックオフ、振り返りワークショップ 2 回、事前評価レビュー会）

-先行事例視察（NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡）

-事業発表会（参加者 66 名※主催者除く、満足度 4.4／5）

-月次面談（事業進捗管理、助言等）

・事前評価実施

・指定活用団体 JANPIA による研修への参加

オ. 休眠預金等活用助成事業 2020 年度通常枠「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」（終了）

・2020 年度から実施した本事業は、2024 年 3 月 31 日で助成期間が終了した。
・事業終了に伴い、指定活用団体（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）による監査が行われ対応した。
・また交付金の清算手続きを行い、実行団体3団体からの未執行分5,056,039円と当財団からの未執行分22,489,506円の合計 27,545,545 円を指定活用団体（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）に返還した。

カ. 千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援事業（継続）

・本助成事業は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む居場所をつくり、そこをハブとして行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくる事業である。
・財源：日本財団「子ども第三の居場所」助成金／助成総額：3,990,000 円
・事業概要：課題を抱えた児童を含む小中高生や、未就学児の親子など多様な人々が参加・交流できる居場所をつくり、地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むとともに、課題を抱える子どもの早期発見や見守りを行う。
・当財団は日本財団、自治体と三者協定を締結し、助成先団体に対し、居場所運営支援、ボランティア研修、報告会の実施、会計支援を行った。また、日本財団との連絡調整や日本財団主催の研修に参加した。
・助成期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月 31 日
・助成先：

団体名・所在地	事業名	2024 年度 助成金額
一般社団法人かんでんち（木更津市）	木更津市における子ども第三の居場所運営事業	3,990,000 円 （補助率 80%）

・ボランティア研修会
　日時：2025 年 3 月 14 日（金）10：00～12：00
　参加者：かんでんちスタッフ・ボランティア 10 名
　内容：発達障害児への理解を深める「気になる子」への対応について」
　講師：認定 NPO 法人発達わんぱく会　理事長　小田知宏氏
・「つながるかんでんち」報告会
　日時：2025 年 2 月 28 日（金）13：30～15：30
　参加者：18 名（一般 15 名、主催者 3 名）
　内容：「つながるかんでんち」活動報告、「困難を抱える子どもの現状について」（第一小学校校長先生）、グループディスカッション
・その他
　- 前年度までの助成団体 NPO 法人 3.11 こども文庫が運営する東金拠点の活動状況の視察を行った。
　- 一般社団法人かんでんち（木更津拠点）、NPO 法人 3.11 こども文庫（東金拠点）の 2023 年度監査を実施した。
　- 日本財団による 2022 年度、2023 年度の監査が行われ対応した。
　- 3 団体の 2021 年度未執行分 2,047,000 円、2022 年度未執行分 3,757,000 円、2023 年度未執行分 4,315,000 円、合計 10,119,000 円を日本財団に返還した。

（3）冠基金プログラム

ア．さくら基金（継続）

・児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集を行った。

・今年度寄付総額：250,000 円／助成総額：未実施

イ．安房まちづくり基金（新規）

・房総半島南部に位置する鴨川市、鋸南町、南房総市、館山市の 3 市 1 町における地域課題解決や価値創造を目指すソーシャルビジネスを支援する基金として設立された。基金設立者以外からの寄付も受け付ける。

・今年度寄付総額：1,000,000 円／助成総額：未実施

2．資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行なった。

（1）多様な寄付の機会の提供　（今年度収入：195,605 円）

・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：7 台設置（145,014 円）

・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：5 ヶ所（実績なし）

・切手・ハガキ寄付（実績なし）

これらの寄付金は公益目的事業運営、「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

・募金箱の設置：1 ヶ所　（未回収）

・寄付付き商品：認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等を生活クラブ生協の組合員向けに販売した。（50,591 円）

これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

・物品寄付：カレンダー寄贈、飲料寄贈

これらの寄贈物品は寄付者の意向に沿って千葉県内の公益活動団体に届けた。

（2）情報共有の場づくり

ア．助成事業成果報告会

寄付者への感謝を込めて、助成団体の報告を通じて、寄付がどのように活動団体の成長に役立ったか、課題解決に貢献したかを共有することを目的に開催した（寄付月間賛同企画）。

日時：2024 年 12 月 7 日 13 時 30 分～16 時 30 分

場所：ベストエフォートオフィス船橋

参加者：18 名（助成団体 10 名／一般 3 名／主催者 5 名）

満足度：4.5／5

内容：2023 年度助成事業成果報告、グループディスカッション

報告団体：「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」第 6 次助成団体（市原米沢の森を考える会、一般社団法人四番隊、特定非営利活動法人光と風）、「子どもの今と未来を支える基金」2023 年度助成団体（NPO 法人

Matsudo 子どもの未来へ with us、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団東関東事業本部、特定非営利活動法人四街道プレーパークどんぐりの森、NPO 法人教育サポート GAA、Cozy Company）

イ．サポーター限定視察ツアー

自身の寄付がどのように活用され、地域に具体的な変化や影響をもたらしているのかを実際に体感していただき、寄付文化のさらなる醸成を目的に開催した。

日時：2025 年 3 月 30 日（日）

視察団体：市原米沢の森を考える会（2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金第 5 次、第 6 次助成）

場所：市原米沢の森を考える会フィールド

参加者：サポーター4 名

満足度：4.8／5

3．助成業務等支援事業

今年度の受託事業はなかった。

4．他機関等との連携

（1）一般社団法人全国コミュニティ財団協会

・全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織である。

・当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めている。

・今年度は、以下の事業に参画した。

(1)理事会、社員総会、臨時社員総会、会員意見交換会、年次大会への参加

(2)会員向け研修会（公益法人法改正勉強会）への参加

(3)日本財団助成金返還の件について、第三者委員会による聞き取り調査協力

（2）一般社団法人全国レガシーギフト協会

・遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が 2016 年 11 月に設立された。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画した。

・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。今年度の相談実績 5 件。

（3）ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク

・本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関 5 機関と中間支援組織により 2017 年 1 月に発足した組織である。

・ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議：1 回開催

・ソーシャルビジネスセミナー&相談会：1 回開催

日時：2024 年 10 月 28 日 13 時～15 時 30 分

場所：日本政策金融公庫千葉支店会議室

内容：基調講演、事例発表、個別相談会

参加者：20 名

（4）その他

ア．啓発事業・講師派遣

・千葉コネクトロータリー衛星クラブ例会にて、活動事例発表を行った。

・千葉大学文学部社会調査実習授業にて活動紹介を行った。

・NPO 法人ワーカーズコレクティブういず主催「食のある居場所立ち上げ講座」にて、講師を務めた。

・（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）主催「2023 年度通常枠向け PO 研修」に登壇し、事例発表を行った。

・柏市民活動サポートコーナー主催「柏市民活動講座 助成金獲得のための基本」にて、講師を務めた。

・笑顔のコミュニティ株式会社主催「千葉地域クラウド交流会　クラウド勉強会」にて、講師を務めた。

・千葉市緑区地域づくり支援課主催「令和 6 年度緑区地域活性化支援事業フォローアップ研修」にて、講師を務めた。

・千葉県支援組織ネットワーク会議全体会にて、休眠預金資金分配団体事例発表を行った。

イ．他機関との連携協働

・千葉県内の支援組織、自治体との情報共有を図ることを目的に、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議（千葉県主催）に加盟し、ネットワーク会議に参加した。

・印西市市民活動推進委員会に委員として事務局長が就任し、委員会への出席、企画提案型協働事業の審査にあたった。

・子ども食堂やフードバンクなど食を通じた支援にかかわっている団体が直面する課題を共有し、実施団体や中間支援組織、自治体や企業が相互に連携することを目的に、食でつながる in ちばの会に参画した。

ウ．その他

・助成申請案件以外にも NPO 等からの相談対応を随時行った。

5．財団運営活動

（1）情報発信・啓発活動

・助成団体の取材記事をホームページで紹介しているほか、公募情報や活動報告など情報発信を随時行った。

・年次報告書（カラー16P）を作成し、寄付者や関係者に配布した。

・メールマガジンを毎月 1 回～2 回、配信した。

・企業等法人寄付獲得強化のためにホームページを改修した。また、一定の条件を満たした協力企業・団体のロゴもトップページに掲載した。

・外部からのヒアリングに随時対応した。

2024 年度実績：木更津市議、学校法人角川ドワンゴ学園 N／S 高校政治部、内閣府休眠預金等活用担当室

【遺贈寄付啓発・促進】

・遺贈寄付の啓発・促進を目的に「遺贈寄付ウィーク 2024 意志ある寄付を未来につなぐ、『遺贈寄付』の可能性」を開催した。

日時：2024 年 9 月 13 日（金）15 時～17 時

場所：千葉市生涯学習センター　研修室 1

内容：＜第 1 部＞基調講演「意志ある寄付を未来につなぐ、遺贈寄付の可能性」講師：新田信行氏

＜第 2 部＞専門家向けセミナー「おひとりさまの相続と遺贈寄付の事例」講師：齋藤弘道氏

ちばのWAの取組み・事例紹介

参加者：8 名（金融機関 1 名、士業 2 名、NPO 関係 2 名、教育関係 3 名）

【メディア掲載】

・12 月 20 日、ちいき新聞（新松戸・北小金版、松戸駅周辺版、野田版、流山版、八柱・五香版）「「どんな人も本当は働ける」を考える　草の根活動支援事業　事業発表会」

・1 月 24 日、ちいき新聞（柏中央・柏西・柏南・柏北版）同上

（2）資金調達活動

・新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼、ウェブサイトを活用して呼びかけを行った。

・多様な資金を助成事業に活用するために、休眠預金やその他の助成金申請を検討、実施した。

（3）当財団への寄付　（2,400,144 円）

・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施している。

2024 年度実績：個人マンスリーサポーター6 名、個人年間サポーター6 名、法人サポーター3 社

前年度比 230%、寄付額は 712,000 円となった。

・その他に、当財団事業運営への寄付として 1,688,144 円（支援ベンダー含む）の寄付を受領した。

【法人運営（管理）事業】

1．機関会議の運営

（1）評議員会の開催

・第 1 回評議員会（2024 年 6 月 12 日 19 時～21 時 オンライン）

第 1 号議案　2023 年度事業報告及び附属明細書の承認

第 2 号議案　2023 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認

第 3 号議案　評議員の選任

第 4 号議案　監事の選任

第 5 号議案　理事の選任

報告事項　2024 年度事業計画及び予算について

（2）理事会の開催

定例理事会は 4 回、臨時理事会を 7 回開催した。

・第 1 回臨時理事会（2024 年 4 月 3 日 19 時～20 時 20 分　オンライン）

第 1 号議案　休眠預金等活用事業 2023 年度通常枠内定団体の承認

・第 1 回理事会（2024 年 5 月 27 日 19 時 10 分～21 時 05 分　オンライン）

第 1 号議案　2023 年度事業報告及び附属明細書の承認

第 2 号議案　2023 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認（監査報告）

第 3 号議案　評議員会の招集日時・内容

第 4 号議案　常勤役員報酬月額承認

第 5 号議案　借入金分割返済について

第 6 号議案　理事の職務権限規程改定について

第 7 号議案　「千葉日報子どもの育ち応援基金」助成団体からの問い合わせについて

第 8 号議案　助成事業の自己資金について

報告事項　助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

協議事項　「まつど子育てささえあい基金」について

・第 2 回臨時理事会（2024 年 6 月 13 日　みなし決議）

第 1 号議案　代表理事（理事長）の選定

第 2 号議案　業務執行理事の選定

第 3 号議案　専務理事の選定

第 4 号議案　顧問の選任

・第 3 回臨時理事会（2024 年 6 月 21 日 19 時～19 時 45 分　オンライン）

第 1 号議案　「子どもの今と未来を支える基金」2024 年度助成事業採否団体の承認

・第 4 回臨時理事会（2024 年 8 月 5 日 19 時～19 時 20 分　オンライン）

第 1 号議案　休眠預金等活用事業 2023 年度通常枠第 2 次公募内定団体の承認

・第 5 回臨時理事会（2024 年 8 月 27 日 19 時～20 時　オンライン）

第 1 号議案　事業指定助成プログラム 2024 年度第 1 次採択団体の承認

・第 2 回理事会（2024 年 9 月 18 日 19 時～20 時 45 分　オンライン）

報告事項　業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第 6 回臨時理事会（2024 年 11 月 5 日 19 時～19 時 30 分　オンライン）

第 1 号議案　冠基金寄付受理及び基金設置の承認

報告事項　サポーターの状況報告

・第3回理事会（2024年12月17日19時～20時50分　オンライン）

第1号議案　選考委員の選任について

報告事項　助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

協議事項　来年度方針について

・第4回理事会（2025年3月7日19時～20時40分　オンライン）

第1号議案　2025年度事業計画及び収支予算書等承認の件

第2号議案　就業規則の改定について

第3号議案　給与規程の改定について

第4号議案　選考委員の選任について

第5号議案　「まつど子育てささえあい基金」助成について

報告事項　業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第7回臨時理事会（2025年3月24日18時～19時　オンライン）

第1号議案　事業指定助成プログラム2024年度第2次採択団体の承認

第2号議案　一般社団法人ぴおねろの森寄付金の使途変更について

（3）監査の実施

・監事が全11回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。

・2024年5月7日に2023年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。また第1回理事会、定時評議員会に出席し、監査報告を行った。

（4）コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス規程に基づき委員会を設置し、開催した。

・第1回（2024年9月17日15時15分～15時55分　ちばのWA地域づくり基金事務所およびオンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当

議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について、全国コミュニティ財団協会の日本財団助成事業についての状況報告

・第2回（2025年3月3日11時～11時45分　ちばのWA地域づくり基金事務所およびオンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当

議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について、利益相反取引、事務手続きのダブルチェックについて報告、全国コミュニティ財団協会の進捗報告

2．役員に関する事項

（1）評議員

今期は評議員の改選期のため、6 月 12 日の評議員会において、以下 7 名の評議員が選任された。

就任（重任）：桜井 義維英、戸谷 久子、萩原 博、福島 浩之、渡辺 元

就任（新任）：片桐 大輔、鎌田 元弘

（2）理事

今期は理事の改選期のため、6 月 12 日の評議員会において、以下の 5 名の理事が選任された。

就任（重任）：泉 貴嗣、岩永 牧人、志村 はるみ、平井 晋也、牧野 昌子

6 月 13 日の臨時理事会（みなし決議）において、理事の中から代表理事及び業務執行理事を以下の通り選定した。

代表理事・理事長　牧野 昌子

業務執行理事・専務理事　志村 はるみ

（3）監事

今期は監事の改選期のため、6 月 12 日の評議員会において、以下 2 名の監事が選任された。

就任（重任）：石川 智章、内山 真義

3．事務局体制

（1）組織体制

・期首は 3 名在籍、期末時点で事務局職員 3 名が（常勤 2 名、パートタイム 1 名、事務局長含む）が在籍している。

・武蔵野大学社会福祉学科よりインターン 1 名を受け入れ、180 時間の実習を行った。

（2）各事業の人員配置

助成事業・資金調達事業担当・受託事業：2 名

経理・総務・事業経理：1 名

法人管理運営：1 名（兼務）

（3）職員研修とスキルアップ

・一般社団法人全国コミュニティ財団協会によるプログラムオフィサー円卓会議に職員 2 名が、実地研修に職員 1 名が参加した。

・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）によるプログラムオフィサー研修に職員 2 名が 1 回参加した。

・公益財団法人公益法人協会主催「公益法人・一般法人会計セミナー「実務編」」、「公益法人・一般法人会計セミナー「決算編」」に職員 1 名が参加した。

・公益財団法人公益法人協会主催「公益法人制度運営の基礎と公益法人制度改正等のポイント」セミナーに職員 1 名が参加した。

４．寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM 等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce 社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っている。

Salesforce 利用にあたっては、Salesforce 社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce：CRM クラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO 法人等への無償提供プログラム など CSR にも積極的に取り組む。http://www.salesforce.com/jp/

添付資料：

・2024 年度　ちばのＷＡ地域づくり基金助成等選考委員会選考会開催状況
・業務執行理事の職務執行状況報告
・間接的な寄付についての報告

2024 年度　ちばのＷＡ地域づくり基金助成等選考委員会

選考会開催状況

■子どもの今と未来を支える基金 2024 年度助成

助 成 対 象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募 集 方 法：公募

選 考 方 法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 4 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

・日時：2024 年 6 月 18 日（水）9 時～11 時

・会場：オンライン及び当財団事務所

・選考委員（五十音順・敬称略）：飯田 耕一、勝又恵里子、小松孝之、桜井義維英

選 考 基 準：

（1）公益性：事業・活動の目的、ターゲット明確であり利益が開かれているか。また、それらが助成の趣旨に合致しているか。

（2）必要性：「体験の格差」の解消に有効か。対象となる家庭の子どもやその家族のニーズを把握し反映されているか。

（3）実現可能性：事業実施が確実に見込まれるか。体制が整っているか。

（4）団体の適格性：団体等の過去の活動実績がその目的に沿ったものか。団体の経済状況が支援を必要とするものか。

（5）資金の必要性：資金使途の明確さと必要性、金額の妥当性

選 考 結 果：3 事業採択

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

■休眠預金等活用助成事業 2023 年度通常枠「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」第 2 次

助 成 対 象：15 歳頃から 39 歳頃で様々な要因で無業状態、働きづらさを抱えた若者への支援実績があり、本事業が目指す若者の就労・定着支援、多様な主体による支援の仕組みづくりを実施できる団体

募 集 方 法：公募

選 考 方 法：申請書類並びに面接審査をもとに、選考委員 6 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

・日時：2024 年 7 月 29 日（月）9 時～12 時 10 分

・会場：オンライン

・選考委員（五十音順・敬称略）：青砥祥子、上野　聡、清水洋行、鈴木祐司、津富　宏、牧野昌子

選 考 基 準：

（1）ガバナンス・コンプライアンス：包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか、また、適切な資金管理とそれを実現する体制（経理会計能力等）があるか

（2）事業の妥当性：事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか
（3）実行可能性：業務実施体制や計画、予算が適切か、また、当該地域、当該分野の活動実績があるか
（4）継続性：助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
（5）先駆性（革新性）：社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
（6）波及効果：事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることが期待できるか
（7）連携と対話：多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

選 考 結 果：1 事業採択
選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

■事業指定助成プログラム 2024 年度第 1 次

助 成 対 象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体
募 集 方 法：公募
選 考 方 法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。
助成等選考委員会：
・日時：2024 年 8 月 19 日（月）10 時～12 時
・会場：当財団事務所
・選考委員（五十音順・敬称略）：小松孝之、戸谷久子、牧野昌子
選 考 基 準：
（1）事業指定助成プログラムの趣旨と条件に合致しているか
（2）地域社会のニーズを踏まえ、活動の目的が明確で、かつ実現方法が適切か
（3）事業の効果が見込まれる事業設計となっているか
（4）広く社会の共感を得られる事業となっているか
（5）寄付募集の積極的な意欲があるか、体制があるか

選 考 結 果：2 事業採択
選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

■事業指定助成プログラム 2024 年度第 2 次

助 成 対 象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体
募 集 方 法：公募
選 考 方 法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。
助成等選考委員会：
・日時：2025 年 3 月 13 日（木）10 時～12 時

・会場：当財団事務所

・選考委員（五十音順・敬称略）：飯田耕一、清水洋行、牧野昌子

選 考 基 準：

（1）事業指定助成プログラムの趣旨と条件に合致しているか

（2）地域社会のニーズを踏まえ、活動の目的が明確で、かつ実現方法が適切か

（3）事業の効果が見込まれる事業設計となっているか

（4）広く社会の共感を得られる事業となっているか

（5）寄付募集の積極的な意欲があるか、体制があるか

選 考 結 果：1 事業採択

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

業務執行理事の職務執行状況報告

■理事長

・理事会、評議員会出席
・2023 年度監査出席
・事務局打合せ出席、会計承認
・助成事業選考会出席、審査（子どもの今と未来を支える基金、休眠預金第 2 次、事業指定助成第 1 次、第 2 次）
・2024 年度助成事業成果報告会出席
・感謝状贈呈式出席（千葉テレビ、個人寄付者）
・遺贈寄付セミナー出席
・休眠預金活用事業　事業発表会出席
・一般社団法人全国コミュニティ財団協会総会、会員意見交換会、勉強会出席

■専務理事

・事業報告書作成提出、法人管理業務
・理事会準備、運営、評議員会準備、運営
・コンプライアンス委員会開催
・職員採用活動、研修企画実施
・法人会計、労務管理
・助成金申請
・契約文書の発簡
・各助成事業進捗確認、報告書まとめ等
・契約範囲内の業務執行
・諸規程に基づく支出の執行
・諸規程の制定及び改定

■理事長（決裁）

・2024 年 4 月 1 日　日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデル運営事業助成契約締結の件
・2024 年 4 月 1 日　木更津市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデル助成事業契約締結の件
・2024 年 5 月 1 日　休眠預金活用事業 2023 年度通常枠実行団体助成事業契約締結の件
・2024 年 5 月 8 日　休眠預金活用事業 2023 年度通常枠実行団体助成事業契約締結の件
・2024 年 5 月 31 日　子どもの今と未来を支える基金助成選考委員委嘱の件
・2024 年 6 月 1 日　休眠預金 2020 年度通常枠助成金返還の件
・2024 年 7 月 5 日　子どもの今と未来を支える基金助成先団体覚書締結の件
・2024 年 7 月 11 日　休眠預金活用事業第 2 次公募助成選考委員委嘱の件
・2024 年 7 月 30 日　事業指定助成プログラム第 1 次助成選考委員委嘱の件
・2024 年 8 月 20 日　休眠預金活用事業 2023 年度通常枠実行団体助成事業契約締結の件
・2024 年 9 月 30 日　事業指定助成プログラム第 1 次助成先団体覚書締結の件
・2024 年 11 月 28 日　事業指定助成プログラム第 1 次助成先団体覚書締結の件
・2025 年 2 月 13 日　事業指定助成プログラム第 2 次助成選考委員委嘱の件
・2025 年 3 月 1 日　休眠預金評価アドバイザー契約内容変更の覚書締結の件　　以上

間接的な寄付についての報告

■寄付付き自動販売機（支援ベンダー）設置場所

・株式会社エスプールプラス　わーくはぴねす農園（船橋市）2 台

・有限会社飯田産業（千葉市）1 台

・株式会社ソーケン製作所（市川市）1 台

・ホテルメイプルイン幕張（千葉市）1 台

・NPO 法人みらい工房（茂原市）1 台

・社会福祉法人みらい工房（千葉市）1 台

■使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置場所

・NPO 法人子ども劇場千葉県センター

・認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

・多世代交流拠点おおなみこなみ

・あすみが丘ガーデンコート自治会

・四街道市みんなで地域づくりセンター

■募金箱

・ホテルメイプルイン幕張

以上